



# 今後の生涯学習の 進め方や考え方は

佐藤 信男議員

市民のつながりや絆づくりを図る

教育長



▲生涯学習の拠点である文化会館

**問** 文化協会への補助額と加入団体数の増減は。

**答** 補助金は270万円、団体数は、令和3年度が79団体、会員数1082人。5年度69団体、会員数880人。

**問** 加入団体や会員数が減少傾向だが、活動を活性化するための対策は。

**答** 事業計画の相談支援や加入促進の支援を実施している。

生涯学習講座を通じた活動団体の育成に取り組

みたい。

**問** 婦人会への補助額、団体数、加入状況は。

**答** 補助金は84万円で、令和5年度の団体数は2支部11分会で、会員数117人。

**問** 会員数が減少しているが、活動を円滑にするための対策は。

**答** 婦人会による講座を毎年開催し作品を展示している。新たな取り組みとして、一般の方を対象に

映画会を実施。今後、活動内容について周知を図り活動を支援していく。

**問** 少子高齢化が推測される中、行政の役割や地域での役割を含め、今後の生涯学習の進め方の考えは。

**答** 生涯学習に魅力を感じ、学習活動を始めるきっかけとして、文化祭やあいさい音楽祭など、多くの市民が集い、学習の成果を見たり、活動する団体や参加者が交流をする機会を新たな視点として、アイデアを意識し、充実、発展させた。

コロナ禍前より以上に、生涯学習の役割を果たすため、市民のつながりや絆づくりを図っていく。また、周知や広報活動に一段と力を注ぎ、生涯スポーツの人口も含め、生涯学習推進のための環境づくりを進める。

## 文化会館の今後の修繕計画は

**問** 文化会館の建築年次と利用内容は。

**答** 文化教養の向上を図るため、昭和60年10月に開設。多様な学習機会や集会場の提供など地域社会の形成や地域文化の振興に貢献するため様々な事業を展開している。

**問** 最近の修繕内容は。

**答** ホール舞台幕取替修繕工事を実施した。

**問** 今後の修繕計画は。

**答** 令和6年度に雨水配管取替修繕、揚水ポンプ圧力計修繕工事、空調機設備改修工事を予定。また、トイレの洋式化などの大規模修繕を計画。